

大阪錦繪新聞

第46号

阿州名東縣十五等出仕吉本信治の人の家。僱ひ女のおつねとよ者へ。主人の留守の戸堅くして。寝もやぬ夜。押入。一人りの賊の研ぎすまを。出双と眼玉をひきりて。金子出せとせお驚くおつね。此家の僱人のへ。金子の有所のま。おつねども。着類へ爰よと籠籠へ。出して渡せと心へ。且那の留守は二ト品でも。紛失をさるひみか。心もたけさ女へ。おつねとま。又とめ。持とま。浪の白痴。衣類と春負出行を。思ひま。と切り付し。賊もすま。出双振り上。ま。に。程。戦。女の腕の。かさ。す。切。近所の人。聞。付。て。み。付。ま。る。有。様。は。賊。の。品。物。捨。置。て。逃。ま。り。し。も。二。ト。品。も。と。ま。り。し。此。お。つ。ね。の。心。が。け。よ。き。所。と。て。縣。廳。さ。る。も。り。賞。典。と。し。て。や。手。柄。あ。り。と。ぞ。



暗誌
安本おま

八尾善枝